

幼稚園・保育園における制服の現状

原田 妙子 ・ 長谷川紀子

An Investigation into the Uniforms Prescribed by Kindergartens and Day Nurseries

Taeko HARADA and Noriko HASEGAWA

緒 言

現代では、子供の数が減少しシックスポケットとも呼ばれ、両親だけでなくその祖父母までもが子供に手を掛けるようになってきているにもかかわらず、小学校の就学時前に、幼稚園あるいは保育園へ入れることが、ほとんどの家庭で当たり前のこととして捉えられている。現在の幼稚園・保育園に行っている幼児の割合は、名古屋市教育委員会総務局のデータによると、平成7年度においては5歳児・4歳児ともに92%で、3歳児においても78%と高い値を示している。しかし、平成5年に合計特殊出生率が1.46人となり¹⁾、幼稚園・保育園においても少子化の影響を少なからず受けていると思われ、園児募集のポスターを多く見かける。そのような中で、それぞれの園では園児の安全や保育の充実を図る上で、いろいろな工夫が成されていると思われるが、その一端である園児の服装については、どのように考えられているのであろうか。

現在までに中学校・高等学校の制服に関する調査報告はいくつか報告されている²⁾が、幼稚園・保育園の制服に関する研究は少なく、近年では乳幼児の衣生活の現状³⁾が報告されているのみである。そこで、本研究では、園児の制服を取り上げ、まずその現状を把握することが必要と考え、質問紙調査を行った。これにより、各園の制服などの現状を捉え、保育者の考え方を理解するとともに、園児服の問題点を拾い上げ、子供服研究の手掛かりを得ようと試みた。

方 法

本研究で取り上げた質問紙調査の項目は、通園時および在園時の制服や遊び着などの状況、すなわちそれらの有無、服種、対応季節、男女の区別、サイズ展開、価格、着用の時間帯、決定時期、その理由、問題点などに関する項目である。具体的な内容を表1に示す。

調査対象は、名古屋市内にある全部の公立、私立の幼稚園と保育園である。

調査の実施時期は、1995年8月である。

調査方法は、郵送によりそれぞれの園にアンケート調査を依頼し、郵送により回収したものである。幼稚園209件、保育園270件の合計479園にアンケートを送付し、回収は幼稚園61件、保育園144件の合計205園であり、回収率42.8%であった。回収できた園の在園児数と保育者数は表2に示した。

得られた回答を単純集計し検討するとともに、幼稚園と保育園との間に差があると考えられ

表1 幼稚園・保育園等の制服に関するアンケート

- 1 そちらの園では、通園時あるいは在園中に、園児に決められた衣服(制服等)を着用させていますか。当てはまるものに○印を付け、具体的にその服種を下から選んで、記号をお書き下さい。
- ア 制服がある。
イ 制服とは別に、遊び着がある。
ウ 体操着(トレーニングウェア)が決まっている。
エ 靴が決まっている。
オ かばんが決まっている。
カ 制帽がある。
キ. 全くない。
- [服種] a. スモック b. プレザー c. ブラウス
d. トレーナー e. ポロシャツ f. Tシャツ
g. スカート h. 半ズボン i. 長ズボン
j. トレパン(短) k. トレパン(長)
l. プルマー m. その他()
- 2 上の服種で選ばれたそれぞれの服種について、もう少し具体的にお答え下さい。
- 2-1 季節によって替えられていますか。夏服・冬服・春秋服・1年間共通等
2-2 男女の区別はありますか。男児用・女児用・男女共通
2-3 サイズは何サイズに分かれ、具体的にどの様に設定されていますか。
2-4 それぞれの価格は、いくらぐらいですか。
- 3 制服について、お聞きします。
まず、制服があると回答された方にお聞きします。
当てはまるものの記号に○を付けて下さい。
- 3-1 その制服を、園児たちは、いつ着ていますか。
ア ずっと着ている イ 通園時だけ
ウ. 園にいるときだけ エ. その他()
- 3-2 その制服は、いつ決定されたものですか。
3-3 どうしてその制服に決められましたか。
理由がありましたらお書き下さい
- 3-4 今の制服に関して、何か問題点がありますか。もし、あるようでしたら具体的にお書き下さい。
ア 問題点がある イ 問題点はない
- 3-5 制服に関して、検討されたことが、以前にありましたか。あるようでしたらそれがいつ頃かをお書き下さい。また、具体的にどういふことを検討されたかもお答え下さい。
いつ頃()・内容
- 3-6 今の制服を、今後検討したいと考えておられますか。もし考えておられるようでしたら、具体的にお答え下さい。
ア 考えている イ 考えていない
- 制服がないと、回答された方にお聞きします。
- 3-7 制服は、いつからないのですか。
3-8 どうしてないのか、理由があればお書き下さい。
3-9 今後、制服を決められる予定はありますか。もし、おありになるようでしたら具体的にお答え下さい。
ア 予定はある イ 予定はない
- 4 園での遊びの場の服装について、お聞きします。
- 4-1 どのような服装で、遊んでいますか。当てはまるものに、○を付けて下さい。
ア 制服のまま イ 遊び着に着替えて
ウ トレーニングウェアで エ 私服で
オ 上半身裸で カ その他()
- 4-2 それはどういう理由からですか。
4-3 そのようにされていることで、よかったことは何ですか。
4-4 反対にそのことに関して、いままでに何か困った事がありましたか。あれば具体的にお書き下さい。

表2 回答を得た園の概要

園児の人数				保育者の人数			
				(園数)			
園児数(人)	幼稚園	保育園	合計	園児数(人)	幼稚園	保育園	合計
0～25	2	1	3	251～275	1	1	2
26～50	6	15	21	276～300	2	2	4
51～75	9	31	40	301～325	1	0	1
76～100	3	45	48	326～350	3	2	5
101～125	4	19	23	351～375	2	1	3
126～150	4	3	7	401～425	1	0	1
151～175	7	2	9	426～450	1	0	1
176～200	4	4	8	476～500	1	0	1
201～225	2	1	3	無回答	4	17	21
226～250	4	0	4	合計	61	144	205
				保育者数(人)	幼稚園	保育園	合計
				1～5	23	8	31
				6～10	23	72	95
				11～15	11	30	41
				16～20	0	11	11
				21～25	0	1	1
				26～30	0	1	1
				36～40	0	1	1
				無回答	4	20	24
				合計	61	144	205

るため比較を行った。

結果および考察

1. 制服の有無およびその服種

通園時あるいは在園時に園児の服装に決まった物を指定しているかという質問に対する回答結果を図1に示した。更にそれらで指定されていた制服、遊び着、体操着について、それぞれの服種を図2に示した。

回答のあった205園のうち制服があると回答した園は121園であり、全体の59.0%を占め、制服がなくても靴あるいは帽子などが決まっている園が59園の28.8%であり、全く何も決めていない所は25園の12.2%であった。

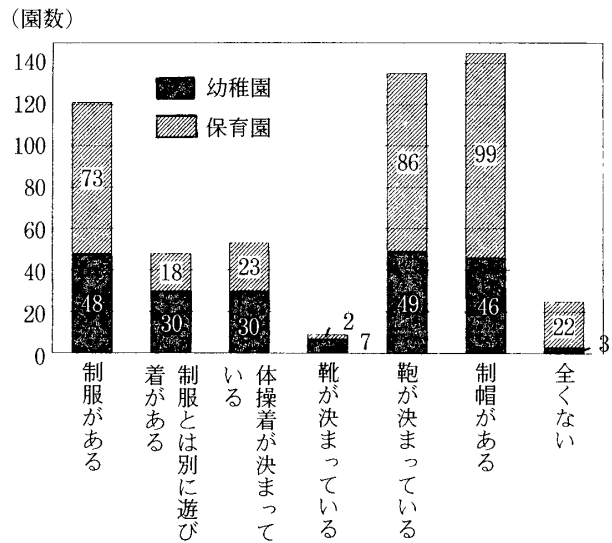


図1 制服の有無

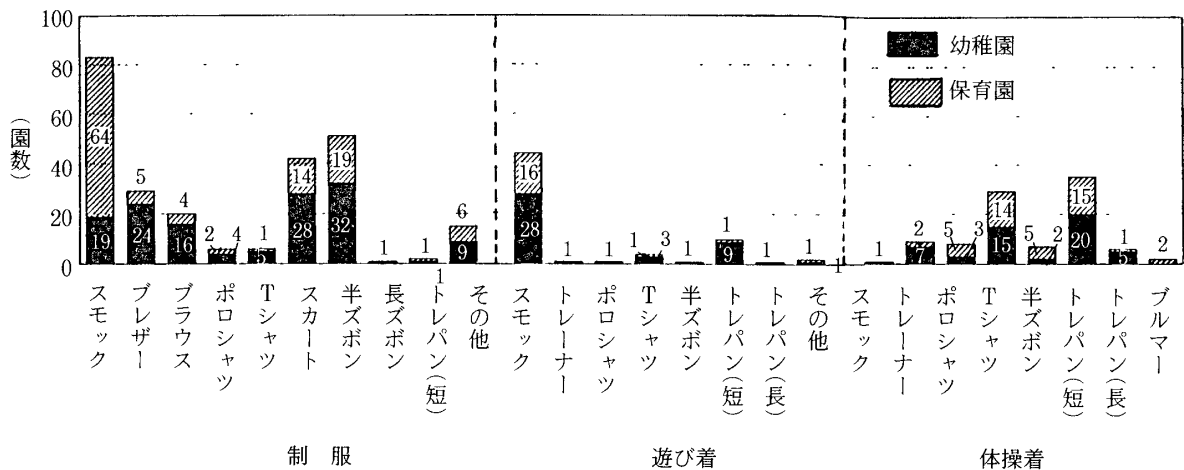


図2 制服・遊び着・体操着の服種

幼稚園と保育園とに分けてみると、制服があるのは幼稚園では61園中78.7%の48園で、保育園114園中64.0%の73園に比べ高い割合を示している。しかし、保育園では制服はなくとも、帽子や靴あるいは遊び着を指定している所が33.4%あった。また、3歳児以下の保育園では、全ての園で制服を指定していなかった。制服の服種について見ると、制服にスモックを指定している園は83園あり、制服があると回答した園の68.6%を占め、次いでブレザーが29園で24.0%と、スモック以外では最も多くなっている。全体ではスモックが多い傾向にあったのに対して、幼稚園と保育園との比較では、保育園においては制服があると回答した83園の内77.1%の64園がスモックであるのに対して、逆に幼稚園では48園中60.4%の29園がスモック以外の制服であるという結果であり、両者に差が見られた。また、上衣にスモックを着用している園で下衣まで決められているのは、全体でスカートが6.7%、半ズボンが12.6%と少なく、逆にスモック以外の制服の園ではスカートが29.4%、半ズボンが31.9%とその8割以上が下衣までを指定していた。ブラウスについても同様の傾向が見られ、スモックを制服と決めていない所では2.5%と僅かであったが、スモック以外では15.1%の出現率であった。その他の服種では、ポロシャ

ツ, Tシャツ, ポレロ, ベスト, ワンピース, セーラー服, エプロンなどが上げられていた.

遊び着についてみると, 図1に示すように全体では23.4%の48園が遊びの時に着用する服装を指定しており, 幼稚園で49.2%保育園では12.5%となっており, 図2のようにそのほとんどはスモックであった. ここで, 保育園の値が低くなっていることについては, 保育園では制服をスモックと指定している所が多く, あえて遊び着を指定する必要がないと考えられているためではないかと思われる. その他には, 短いトレーニングパンツを下衣として着用している園も若干見られた.

更に体操着を指定している所は全体では25.9%の53園であり, 幼稚園では49.2%, 保育園では16.0%と遊び着と似た値を示している. 上げられている服種はTシャツと短いトレーニングパンツが最も多く, トレーナー, ポロシャツなども見られた.

靴を決めている所は全体の65.9%, 帽子は70.7%であったが, 幼稚園と保育園との比較では, 靴がそれぞれ80.3%, 59.7%, 帽子が75.4%, 68.8%であり, 僅かではあるが幼稚園の値が高く, 保育園では親の手作りの靴を持たせるようにしている所もあった. また, 靴を決まった物にしている園は非常に少なく, 全体で4.4%に過ぎなかったが, 幼稚園でスモック以外を制服と決めている所ではその2割近くが靴まで決められていた.

2. 対応季節, 男女の区別, サイズ, 価格について

先の回答で上げられた服種について, それぞれの対応季節, 男女の区別, サイズ, 価格について調査した.

2-1 対応季節

それぞれの服種において, 着用している対応季節の結果を表3に示した. 長ズボン, トレーニングパンツ (長), ブルマーについては, 出現率が低かったため省くこととした. まずスモックについてみると, 着用している116園の内, 冬服としての指定がある園は79.3%あり, 夏服では45.7%であった. また年間を通して着用している園も19.8%あった. 幼稚園と保育園との比較では, 冬服についてはほぼ同じ割合であるが, 夏服では幼稚園の方が高い値を示していた. ブレザーを着用しているのは31園であり, それらの83.9%が冬服であった. ブラウスは着用している23園の内73.9%で冬服があり, 夏服は43.5%で冬服に比べやや

表3 各服種の対応季節
(指定している園数に対する割合) (%)

服種	季節	幼稚園	保育園	合計
スモック N=116 (幼46.保70)	夏服	60.9	35.7	45.7
	冬服	82.6	77.1	79.3
	合服	2.2	1.4	1.7
	1年共通	17.4	21.4	19.8
ブレザー N=31 (幼26.保5)	夏服	11.5	20.0	12.9
	冬服	84.6	80.0	83.9
	1年共通	11.5	20.0	12.9
ブラウス N=23 (幼18.保5)	夏服	50.0	20.0	43.5
	冬服	77.8	60.0	73.9
	合服	5.6	0	4.3
	1年共通	16.7	20.0	17.4
トレーナー N=11 (幼9.保2)	夏服	44.4	0	36.4
	冬服	55.6	0	45.5
	1年共通	22.2	100	36.4
ポロシャツ N=11 (幼5.保6)	夏服	80.0	50.0	63.6
	冬服	40.0	50.0	45.5
	1年共通	20.0	66.7	45.5
Tシャツ N=33 (幼21.保12)	夏服	38.0	41.7	39.4
	冬服	19.0	8.3	15.2
	合服	0	8.3	3.0
	1年共通	61.9	75.0	66.7
スカート N=44 (幼30.保14)	夏服	33.3	21.4	29.5
	冬服	56.7	57.1	56.8
	1年共通	40.0	35.7	38.6
半ズボン N=57 (幼35.保22)	夏服	40.0	27.3	35.1
	冬服	48.6	31.8	42.1
	合服	2.9	0	1.8
	1年共通	42.9	59.1	49.1
トレパン短 N=46 (幼30.保16)	夏服	26.7	6.3	19.6
	冬服	3.3	0	2.2
	合服	0	6.3	2.2
	1年共通	70.0	87.5	76.1

※回答は複数回答である.

低い値であった。トレーナー、ポロシャツを着用している園はともに11園と少ないが、夏服と冬服、1年間共通の割合は、ほぼ同じであった。しかし、Tシャツについては、着用している33園の内、39.4%が夏服があり、66.7%が1年間共通の物を着用しているという結果であった。また同じトレーニングウェアでも、短いトレーニングパンツについては46園が着用しており、その76.1%は年間を通して着用されていた。スカートで44園の内冬服の指定がある園は56.8%、次いで1年間共通が38.6%、夏服が29.5%であり、半ズボンについては57園の内1年間共通の園が49.1%とスカートと異なり多く、次いで冬服42.1%夏服の35.1%となっている。

2-2 男女の区別

表4に、先と同様の服種について、男児用、女児用の区別を示した。

スマックについては、着用している116園中92.2%は男女共通に着用していたが、幼稚園だけでみると、18.4%が男児女児の区別がつけられている。ブレザーでは男女共通が多いが、スマックと比べて男女の区別がつけられている園がやや多いという結果であった。ブラウスについても、同様のことが言える。スカートについては、全て女児用であるが、半ズボンでは、その75.4%が男児用であり、26.3%が男児女児共通として用いられていた。トレーニングパンツ（短）では、10%余りが男児用、女児用に区別されて着用されていたが、トレーナー、Tシャツについては、ほとんどが男女共通に着用されていた。ポロシャツについては、男女共通に着用している園は全体で72.7%であったが、幼稚園と保育園との間に差が認められ、幼稚園においては60%が男児用、女児用に区別されている。全体的には、スカートと半ズボン以外の服種において男女共通に着用されている園が多いという傾向であった。

2-3 サイズ展開

サイズの展開について表5に示すが、ほとんどの服種でS, M, L, LLの4サイズに展開されている園が多かった。これらは、Sが身長100cm, Mが110cm, Lが120cm, LLが130cmに対応している。

服種別にみると、スマックでは53.4%の園で4サイズに展開されており、次いで28.4%の園で3サイズ展開となり、S, M, Lの3サイズしかない園からSS, S, M, L, LL, 3L, 4Lの7サイズまである園が出現した。ブレザーについても同様に、45.2%の園で4サイズの

表4 男女の区別
(指定している園数に対する割合) (%)

服種		幼稚園	保育園	合計
スマック N=116 (幼46.保70)	男	18.4	1.4	8.6
	女	18.4	1.4	8.6
	共通	79.6	97.1	92.2
ブレザー N=31 (幼26.保5)	男	19.2	40.0	22.6
	女	15.4	40.0	19.4
	共通	69.2	60.0	67.7
ブラウス N=23 (幼18.保5)	男	27.8	20.0	26.1
	女	22.2	20.0	21.7
	共通	66.7	80.0	69.6
トレーナー N=11 (幼9.保2)	共通	100	100	100
ポロシャツ N=11 (幼5.保6)	男	60.0	16.7	36.4
	女	60.0	16.7	36.4
	共通	40.0	100	72.7
Tシャツ N=33 (幼21.保12)	男	0	8.3	3.0
	女	0	8.3	3.0
	共通	100	100	100
スカート N=44 (幼30.保14)	女	100	92.9	97.7
半ズボン N=57 (幼35.保22)	男	88.6	54.5	75.4
	女	2.9	0	1.8
	共通	14.3	45.5	26.3
トレパン短 N=46 (幼30.保16)	男	10.0	25.0	15.2
	女	10.0	12.5	10.9
	共通	86.7	75.0	82.6

※回答は複数回答である。

表5 サイズ展開
(指定している園数に対する割合)

					(%)				
服 種	サ イ ズ	幼稚園	保育園	合 計	服 種	サ イ ズ	幼稚園	保育園	合 計
スモック N=116 (幼46.保70)	3サイズ	28.3	28.6	28.4	Tシャツ N=33 (幼21.保12)	3サイズ	9.5	83.3	36.4
	4サイズ	56.5	51.4	53.4		4サイズ	52.4	8.3	36.4
	5サイズ	10.9	12.9	12.1		5サイズ	23.8	16.7	21.2
	6サイズ	2.2	0	0.9		6サイズ	0	8.3	3.0
	7サイズ	2.2	0	0.9		7サイズ	4.8	0	3.0
ブレザー N=31 (幼26.保5)	3サイズ	19.2	80.0	29.0	スカート N=44 (幼30.保14)	3サイズ	23.3	42.9	29.5
	4サイズ	53.8	0	45.2		4サイズ	50.0	14.3	38.6
	5サイズ	11.5	20.0	12.9		5サイズ	23.3	35.7	27.3
	6サイズ	3.8	0	3.2		6サイズ	3.3	0	2.3
ブラウス N=23 (幼18.保5)	3サイズ	0	40.0	8.7	半ズボン N=57 (幼35.保22)	3サイズ	20.0	40.9	28.1
	4サイズ	55.6	20.0	47.8		4サイズ	48.6	27.3	40.4
	5サイズ	33.3	20.0	30.4		5サイズ	20.0	22.7	21.1
	6サイズ	5.6	0	4.3		6サイズ	2.9	0	1.8
	7サイズ	5.6	0	4.3	トレパン短 N=46 (幼30.保16)	1サイズ	0	6.3	2.2
トレーナー N=11 (幼9.保2)	2サイズ	11.1	0	9.1		3サイズ	16.7	56.3	30.4
	3サイズ	11.1	0	9.1		4サイズ	46.7	12.5	34.8
	4サイズ	11.1	50.0	18.2		5サイズ	56.7	18.8	43.5
	5サイズ	55.6	50.0	54.5		6サイズ	0	6.3	2.2
ポロシャツ N=11 (幼5.保6)	2サイズ	0	16.7	9.1	※回答は複数回答である				
	3サイズ	0	16.7	9.1	3サイズ(S.M.L)				
	4サイズ	80.0	50.0	63.6	4サイズ(S.M.L.LL)				
	5サイズ	20.0	16.7	18.2	※ 5サイズ(S.M.L.LL.3L 又はSS.S.M.L.LL)				
					6サイズ(SS.S.M.L.LL.3L)				
					7サイズ(SS.S.M.L.LL.3L.4L)				

展開をしており、3サイズが29.0%あり、3～6サイズの範囲で展開している園が見られた。ブラウスでは、3～7サイズの展開があり4、5サイズ展開が多かった。スカート、半ズボンといった下衣の服種については、両服種が同傾向で3～6サイズに展開されており、4サイズの所が多くなっていた。トレーナーは5サイズ、ポロシャツは4サイズ、Tシャツは3、4サイズの展開が多く、トレーニングパンツ（短）では3、4、5サイズの展開がほぼ同じ割合でみられた。

ほとんどの服種で、対象園児の年齢層が広い保育園よりも幼稚園の方が、多くのサイズを展開している所が見られ、特にTシャツ、半ズボン、トレーニングパンツ（短）において、顕著であった。

2-4 購入価格

制服などの購入価格についてもかなりの差があると考えられるため、調査した結果を表6に示した。尚、業者との兼ね合いによる理由もあって、無回答が24園あった。

まずスモックについて見ると、900～3,000円までの範囲に出現しており、1,500～2,000円の価格帯が41.4%と半数に近く、2,000～2,500円が25.9%と続いている。この中には、制服とし

てのスモックと、遊び着としてのスモックが含まれているため、広い範囲の価格帯に設定されているものと推測される。これに対してブレザーについて見ると、2,500～8,000円の範囲で見られ、最も多い価格帯は3,000～4,000円、4,000～5,000円がそれぞれ29.0%と1着当たりの単価がかなり高くなっている。ブラウスでは1,500～2,000円が最も多く56.5%の園で見られた。下衣についてはスカートが1,900～4,300円、半ズボンが900～3,500円の範囲にあり、半ズボンの方が安価な物が指定されているが、両者とも7,300円という所も1園のみではあるが見られた。トレーナー、ポロシャツ、Tシャツは3,000円台までの価格帯で設定されているが、ポロシャツが2,000～2,500円が多いのに対して、Tシャツは1,000～1,500円で多く設定されていた。またトレーニングパンツ（短）については、Tシャツ同様1,000～1,500円が多く、次いで500～1,000円と比較的低い価格帯で設定されている。

表6 購入価格
(指定している園数に対する割合)

服 種	価格(円)	幼稚園 保育園 合計			服 種	価格(円)	幼稚園 保育園 合計		
		(%)	(%)	(%)			(%)	(%)	(%)
スモック N=116 (幼46.保70)	500～	2.2	1.4	1.7	Tシャツ N=33 (幼21.保12)	500～	0	8.3	3.0
	1000～	21.7	11.4	15.5		1000～	52.4	25.0	42.4
	1500～	45.7	38.6	41.4		1500～	14.3	16.7	15.2
	2000～	17.4	31.4	25.9		2000～	9.5	0	6.1
	2500～	19.6	12.9	15.5		2500～	0	8.3	3.0
	3000～	2.2	1.4	1.7		3000～	4.8	0	3.0
ブレザー N=31 (幼26.保5)	2500～	7.7	0	6.5	スカート N=44 (幼30.保14)	1500～	3.3	7.1	4.5
	3000～	30.8	20.0	29.0		2000～	26.7	21.4	25.0
	4000～	30.8	20.0	29.0		2500～	30.0	14.3	25.0
	5000～	3.8	0	3.2		3000～	10.0	7.1	9.1
	6000～	11.5	0	9.7		4000～	3.3	0	2.3
	7000～	0	0	0		5000～	0	0	0
	8000～	3.8	0	3.2		6000～	0	0	0
ブラウス N=23 (幼18.保5)	1000～	22.2	20.0	21.7	7000～	3.3	0	2.3	
	1500～	61.1	40.0	56.5	半ズボン N=57 (幼35.保22)	500～	8.6	9.1	8.8
	2000～	11.1	0	8.7		1000～	0	13.6	5.3
2500～	5.6	0	4.3	1500～		34.3	22.7	29.8	
トレーナー N=11 (幼9.保2)	1000～	0	100	18.2		2000～	20.0	9.1	15.8
	1500～	11.1	0	9.1		2500～	8.6	4.5	7.0
	2000～	0	0	0		3000～	8.6	4.5	7.0
	2500～	11.1	0	9.1		4000～	0	0	0
	3000～	11.1	0	9.1	5000～	0	0	0	
ポロシャツ N=11 (幼5.保6)	1500～	20.0	16.7	18.2	6000～	0	0	0	
	2000～	80.0	33.3	54.5	7000～	2.9	0	1.8	
	2500～	0	50.0	27.3	トレパン短 N=46 (幼30.保16)	500～	30.0	6.3	21.7
				1000～		36.7	31.3	34.8	
				1500～		3.3	12.5	6.5	
				2000～		6.7	0	4.3	

※回答は複数回答である

次に、制服に指定されている服種を一通り揃えた時の合計金額について計算したものを表7に示した。幼稚園においては、上衣にスモックを指定し下衣は指定していない所での、金額の最高は10,800円、最低は2,850円であり、その平均は5,678円となる。スモック以外を制服に指定している所では、最高は22,400円、最低は5,050円、その平均は13,750円であり、両者の負担は2倍以上の差となっている。また保育園においても、スモックで下衣を指定していない所では最高6,300円、最低1,100円、平均2,992円であり、スモック以外では最高15,400円、最低9,700円、平均12,624円となり、4倍近い負担となっており、園児一人にかかる父母の負担にはかなりの差があるものと思われる。また、保育園の特別の場合にのみ制服を着用する園の平均は1,983円と最も低い値を示し、逆に制服を指定していないにもかかわらず、遊び着やトレーニングウェアなどを指定している所があり、制服なしの園における平均は幼稚園で6,033円、保育園で3,030円と、スモックを着用している園の値と近似していた。また、幼稚園と保育園との比較においては、幼稚園の方がやや高いという結果であった。尚、これらの値は衣服に関してのみの計算値であり、更にこれに靴や帽子が加わることを考慮しなければならぬ。

3. 着用の時間帯

通園時から降園時までの制服を着用している時間帯についてを表8に示した。

通園の時から帰宅するまでずっと制服を着用していると33園が回答しており、これは制服を指定している121園中27.3%であり、幼稚園では48園中18園の37.5%、保育園では73園中15園の20.5%であった。そこでそれらの形をみると、服種はスモックで、夏は半袖、冬は長袖のラグランスリーブの物が多く、素材については吸湿性や肌触りなどの面から綿素材を、洗濯や管理面から化繊の物を指定していた。スモック以外では、夏にはトレーニングウェアやシャツブラウスも見られた。これらの園では、園での活動を妨げるような形や素材を用いているようであった。

通園時だけ制服を着用している所は全体では55園の45.5%となり、幼稚園では23園出現し、スモック以外を制服としている所が多いが、保育園では32園の内スモックを制服に指定している所が多いという結果であった。

表7 園児一人当たりの制服にかかる費用

		(円)		
制服の状況	金額	最高額	最低額	平均額
	スモック(下有り)	9,700	1,900	6,990
	スモック以外	22,400	5,050	13,750
	制服なし	9,200	3,900	6,033
保育園	スモック(下なし)	6,300	1,100	2,992
	スモック(下有り)	10,400	3,200	5,942
	スモック(特)	2,600	1,200	1,983
	スモック以外	15,400	9,700	12,624
	制服なし	4,300	1,960	3,030

表8 園児が制服を着用している時間帯

		(園数)						
項目	制服 幼 保	スモック		スモック以外		合計		総合計
		幼	保	幼	保	幼	保	
		ア ずっと着ている	11	13	7	2	18	
イ 通園時だけ	5	25	18	7	23	32	55	
ウ 園にいるときだけ	1	1	1	0	2	1	3	
エ その他	0	20	5	3	5	23	28	
無回答	0	2	0	0	0	2	2	
合計	17	61	31	12	48	73	121	

表9 遊び時間の服装

		(園数)		
		幼稚園	保育園	合計
ア	制服のまま	12	6	18
イ	遊び着に着替えて	25	23	48
ウ	トレーニングウェアで	3	2	5
エ	私服で	11	104	115
オ	上半身裸で	1	1	2
カ	その他	9	6	15
	無回答	0	2	2
合計		61	144	205

これらの園の、在園中における遊び時間の服装について調査した結果を表9に示した。これを見ると遊び着に着替えているという園は48園で回答した園の23.4%であり、ここには制服はないが遊び時間のみ遊び着を着る所も含まれていた。その内訳は、幼稚園が25園、保育園が23園であり、そのほとんどがスモック以外の制服を着用している所であった。また、遊び時間には制服を脱いで私服で過ごしている、あるいは制服が指定されておらずそのまま私服で過ごしているという所は115園で56.1%となり、遊び着に着替えている園の数をかなり上回っている。更に、幼稚園では11園であったのに対して、保育園では104園であり、両者間に大きな差が認められた。その他、制服は必要に応じて脱ぎ着する、あるいは園外に出るときに着用するなど、気候や状況に合わせて幅を持たせている所が15園あった。また、遊び時間に上半身は裸で過ごすという回答も2園と僅かではあるが出現している。尚、先に述べた制服をずっと着用している園の中でも、遊び時間のみ遊び着に替える園が見られた。

そこで、ずっと制服で過ごしている園と遊び着に着替える園、私服で過ごす園のそれぞれに対して、その理由を調査した。ずっと制服で過ごしている園は18園あったがそこでは、「着替える時間が省けるため遊びの時間が増える」3園、「園外に出た時確認しやすい」2園などが理由として上げられ、制服にスモックを設定している園では更に「私服にお金がかからず、制服1つで済み父母に負担がかからない」2園、「スモックは汚れたらすぐに洗える」4園、などの理由も上げられており、その利点も一致している。

遊び着に着替える園は49園で「汚れても気にせず遊べる」という回答が29園とかなり多く、それに関連して「洗濯がしやすい」が3園で上げられており、スモックをずっと着ている園と同じ回答が出現した。次に「活動しやすい」が12園と続き、その他「気候により調節できる」「単価が安い」「連帯感を持つことができる」などが上げられている。また、その利点についてはほぼ一致しているが、更にそうすることにより「自分で着脱できるようになる」「手先が器用になる」が12園で上げられ、「心身ともにリラックスできる」「生活のめりはりがつく」と精神面などからの利点も見られた。トレーニングウェアに着替える園は5園であり、ほぼ類似の傾向であった。

上半身は裸で過ごしている所は2園と数は少ないものの、「風邪などの抵抗力をつけられる」を理由としている。

遊び時間は私服で過ごすという園は115園とかなり多く見られたが、その理由で最も多かったものは「汚れたらすぐに洗える」が50園、「活動しやすい」が31園で上げられ、これは先に述べた制服で過ごす園と、遊び着に着替える園との両者において上げられているものと一致した。また「気候により調節できる」は遊び着に着替える園と一致している。特に私服で過ごす園のみで「家庭でも園でも同じように過ごせる」「自然のままだから」に加え「個性を重視したい」という理由が上げられている。

以上のように、異なる服種であっても同じ傾向の回答が出現していることから、それぞれの園で持たれている価値観の相違が考えられ、注目すべき点である。

4. 制服の決定時期とその理由

制服を指定している園において、それが決定された時期についての調査結果を表10に示した。幼稚園・保育園とも約半数は開園時に決定したまま、あるいはかなり以前で不明と言う回答であった。その他では、11年以上前がやや高い値を示しているが、スモック以外の制服を設定している園では2、3年前に決定している所がやや多く見られた。

次に、それらの制服に決定した理由をみると、最も多かった回答は、「動きやすいから」で

あった。次いで「脱ぎ着しやすいから」が上げられ、機能面を重視する傾向が見られる。その他には「洗濯が簡単であるから」「防寒のため」という機能面からの理由と、「可愛らしいから園児らしいから」「色が明るいから」というデザイン面の理由が上げられ、更に「父母への負担が少ないから」「どの子も同じで統一できるから」「園外での目印になるから」「時代の流れに合わせる」などという経済面や社会面からの理由も見られた。

それらの制服について以前に検討したことがあるという所は表10に示すように63園あり、制服がある内の約半数を占め、その時期は4、5年前に18園、2、3年前に18園と、ここ5年間に多くなっており、毎年あるいは時々検討している園も8園あった。その内容としては、幼稚園では、スモック以外を制服に指定している所で、活動しやすいデザインを検討した園が7園あり、他にサイズや素材の検討など、現状の制服についての改善が主であった。それに対して保育園では、制服の必要性に関する内容が21園と非常に多く、「あまり着ないので不要では」「制服が薄すぎて冬は防寒にならないのでは」「夏は暑すぎる」など制服を不必要とする傾向にある意見と、「私服だと競争になるから」「戸外で遊ぶ時は必要である」「制服をそろえることは管理教育の一つである」といった必要とする傾向の意見が上げられている。これは保育園ではスモックを制服としている所が多いので、現状ではスモックが機能面では比較的よいと考えられているため、改善よりもその必要性が問題になったと推測される。なお、業者の都合で検討が必要になった園も5園あった。また、現在着用している制服について、今後検討する予定があると回答した園は全体の121園の内23園の19.0%であった。幼稚園と保育園に分けて図3に示したが、幼稚園では20.8%の10園、保育園では17.8%の13園であり、ほぼ同傾向であった。その内容としては、デザインや機能性、素材などについてが主であるが、制服の必要性についての検討をしたいという園も6園見られた。

次に、制服を指定していない84園について、それを決定した時期を表10に示した。開園当時からないという園が多いが、その他には6～10年前からが13園、11～20年前からが10園と、こ

表10 制服の決定および検討時期

(園数)

項目 時期	制服を決定した時期							制服を検討した時期							制服なしと決定した時期							
	スモック		スモック以外		合計		総合計	スモック		スモック以外		合計		総合計	制服なし		全くなし		合計		総合計	
	幼	保	幼	保	幼	保		幼	保	幼	保	幼	保		幼	保	幼	保	幼	保		
毎年 時々									4	1	3	1	7	8								
今年	1		2		3		3	3	1	1	1	4	5		4				4	4		
1年前			1	1	1	1	2	6		1		7	7		1				1	1		
2,3年前		2	5	2	5	4	9	2	6		5	2	11	13	1	6		1	1	7	8	
4,5年前		1	1		1	1	2	2	9	2	5	4	14	18		3				3	3	
6～10年前	1	5	1		2	5	7	2	2	1	1	3	3	6	1	11		1	1	12	13	
11～20年前		6	3	3	3	9	12	1	1			1	1	2	1	6		3	1	9	10	
21～30年前	2	7	2	1	4	8	12	1	1	1		2	1	3								
31年以上前	2	3	2	2	4	5	9															
ずっと以前	1	4	2		3	4	7															
開園当時から	7	14	8	2	15	16	31								6	11	2	12	8	23	31	
無回答	3	19	4	1	7	20	27	1				1		1	1	7	1	5	2	12	14	
合計	17	61	31	12	48	73	121	9	32	6	16	15	48	63	10	49	3	22	13	71	84	

の頃から制服なしという園が増加している。先に述べたように、乳児から3歳児の保育園では制服を指定していない所が8園含まれているが、他の園において、その理由をまとめると、最も多かったものは、「必要性を感じない」24園、「個性を大切にしたい」20園であり、「小学校では制服がないのになぜ幼児に制服を着せるのか」といった意見を持つ園も見られた。次いで「1日に何回も着替えられる」19園、「毎日洗濯できる・清潔に保ちやすい」5園、「制服を着用すると暑い・衣服の調節ができる」7園などの衛生面からの理由と、「私服の方が動きやすい」17園、「制服は着脱しにくい」1園などの機能面からの理由、「父母に負担をかけない」10園、「制服はあまり活用しない」5園など経済面からの理由が上げられていた。これらの園について、今後制服を指定する予定があるかどうかを質問した結果、あると回答した園はひとつも見られなかった。

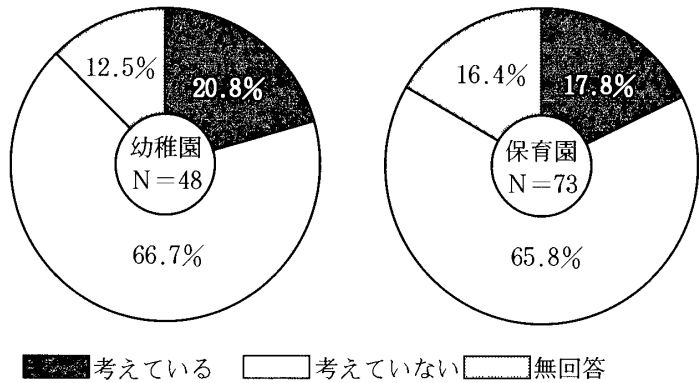


図3 今後の制服の検討予定

5. 問題点

以上述べたように、様々な理由により制服を指定している園や指定していない園が出現したがその問題点もかなり上げられていた。

まず制服を指定している園において、今の制服に問題点があると回答した園は44園で、幼稚園と保育園とに分けてみると、図4

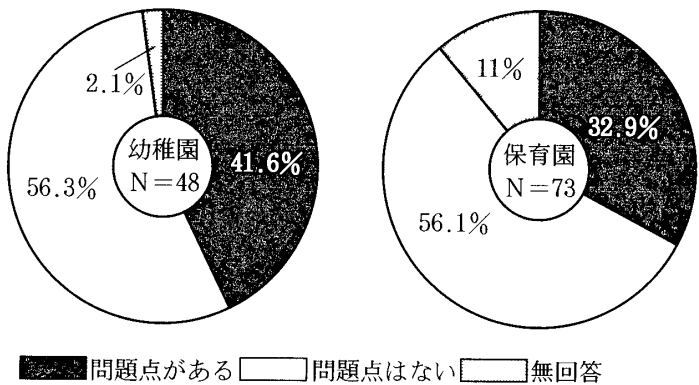


図4 問題点

に見られるように、幼稚園ではその41.6%が、保育園では32.9%が問題ありと答えている。その具体的な内容は、「夏スモックが汗を吸わない、暑い」あるいは「冬には寒い」などが15園あり、それに関連して素材面で問題があるという園も見られた。また「動きにくい」「自分で着脱できない」などサイズ面での問題点や「デザインが古い」なども上げられていた。更に「着用の期間が短い」「本当に必要か」など必要性を問う意見もあった。

次に遊び時間の服装に関する問題点を上げると、遊び着を着用している園では、「着替えに時間がかかる」や「着替えに保育士の手が掛かる」「それによってすぐに遊びたいという園児の気持ちが削がれる」を併せて9園が上げている。また「着用時期の調節が難しい」という意見もあった。遊び時間を私服で過ごしている園では、利点も多かった反面、問題点もかなり指摘されている。最も多かった意見は20園で上げられた「高価な私服を着てくる園児が増えた」「服を汚しては困る」「遊びのじゃまになるような服装で来る園児がいる」など幼稚園・保育園での園児の活動状況を把握せずに、運動するには相応しくない服装をして来るということであり、個性を重視するにもその程度が十分理解されていないように思われる。また汚れば何

度も着替えられることが利点のところで上げられていた反面、「洗濯物が多いと保護者から苦情が来る」「必要な衣服の枚数が把握できていない」なども上げられている。更に、ポケットやボタンなどの形や大きさなどの問題や、「私服に名前がない」などの問題点も指摘されていた。ここでも先に述べた制服の決定理由と同様、価値観の違いにより同じ内容にもかかわらず利点と欠点とのどちらにも捉えられているという傾向が現れており、制服の目的や必要性を再確認することが重要であると考えられる。

要 約

園児の制服を考えるために、現状を把握するとともに問題点を拾い上げようと、名古屋市内の幼稚園、保育園を対象に、質問紙調査をし検討を行った。その結果、制服を指定している園は全体の59.0%あり、逆に全く何も指定していない園は12.2%であり、保育園に比べ幼稚園の方がかなり高い値を示した。制服の服種では、スモックが64.5%、それ以外はブレザーが多く、特に幼稚園で高い値を示した。各服種におけるサイズ展開は4サイズが多く、男女共通に着用できるものを指定していた。価格面においては、指定された制服の種類により差があり、幼稚園と保育園間にも差が見られた。遊び時間の服装は、制服を指定している園では、着替えるか私服のままである所が多く、遊び着と私服の両方で、理由として衛生面からと機能面からの同じ内容が上げられ、服種の捉え方にかかなりの差が見られた。現状に問題があると答えた園は1/3以上あり、吸湿性や皮膚への影響などの素材面と、サイズなどを含む活動性などの機能面から見た制服の改善を上げている園や、更にその必要性を問う園があった。今回、制服の現状を把握することが出来たが、より詳しい検討が必要であると考えられる。

文 献

- 1) 日本繊維新聞社出版部編：こども服白書 '95, 85～91, 日本繊維新聞社 (1994)
- 2) 三井紀子, 酒井豊子：家政誌, 35, 344～353 (1984)
- 3) 布施谷節子：家政誌, 42, 545～550 (1991)